

守山まるごと活性化プラン検討委員会  
第2回 学区別会議（玉津学区）

日時：平成 25 年 7 月 24 日（水）  
20：00～22：00  
場所：玉津会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
  - 本日の進め方
  - 守山まるごと活性化プランの内容と検討方法
3. 意見交換（テーブル毎に）
  - 地域の特徴、良いところ
  - 地域の宝ものさがし
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など



守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 玉津学区 】

H250724 現在 敬称略

No.	自治会	名前		班
1	赤野井	谷口 喜久	たにぐち よしひさ	1
2	赤野井	赤井 武志	あかい たけし	
3	赤野井	堀井 久嘉	ほりい ひさよし	
4	赤野井	田中 善也	たなか よしなり	
5	赤野井	徳地 智映	とくち ちあき	
6	矢島	林 俊行	はやし としゆき	2
7	矢島	北野 進	きたの すすむ	
8	矢島	藤田 康彦	ふじた やすひこ	
9	矢島	大塚 美和	おおつか みわ	
10	石田	赤井 清司	あかい きよし	3
11	石田	金野 弘子	こんの ひろこ	
12	石田	澤田 文子	さわだ ふみこ	
13	石田	中西 清重	なかにし きよしげ	
14	十二里	荒木 勝司	あらき かつじ	
15	十二里	十二里 勝美	じゅうにり かつみ	

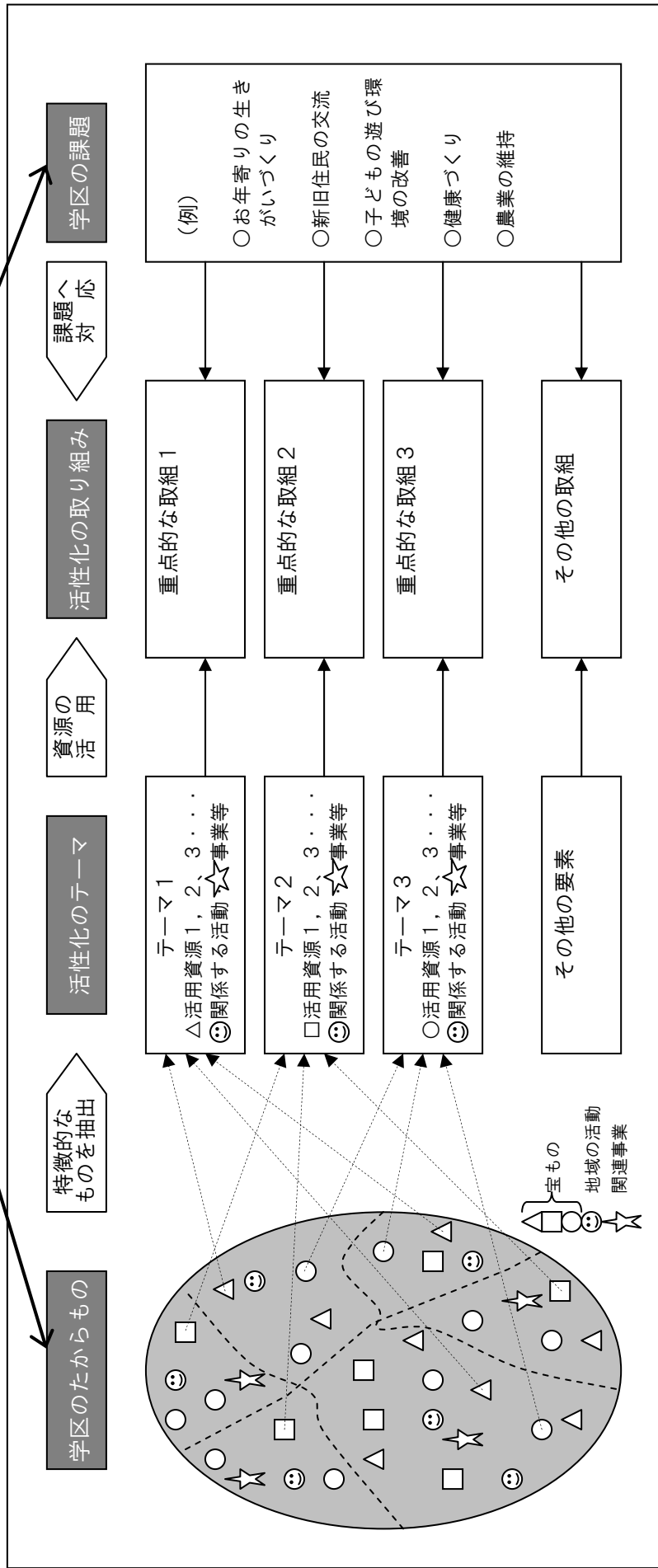
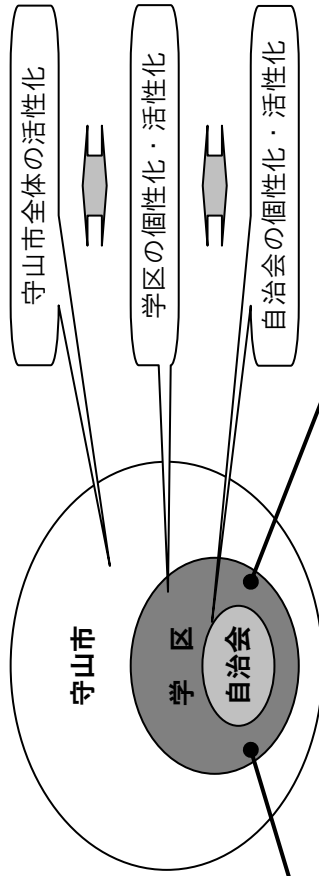
事務局

- ・ 濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・ 松岡 幹雄                      ・ 鈴木 文男                      ・ 松山 正
- ・ 木村 勝之                      ・ 吉原 史雄                      ・ 足立 慎也
- ・ 奥村 彰彦                      ・ 小野田 敦                      ・ 貞松 純子

# 「守山まるごと活性化プラン」 検討の考え方

## 守山市まるごと活性化計画

- 目的  
地域資源を活用した地域全体の活性化に取り組み、地域や守山市への『愛着と誇り』の醸成をめざす。
- 位置づけ  
○ 活性化に向けた具体的な取り組みのとりまとめ  
○ 地域と行政が連携し、プラン策定、プラン実行を行う  
○ プランの事業は5~10年間で順次事業化
- 検討の視点  
○ 歴史資源や自然資源等を活用した活性化  
○ 魅力的な地域創造による愛着と誇りの持てるまちづくり  
○ 人とひとの絆の強化、地域コミュニティの活性化



# 「守山まるごと活性化プラン」完成イメージ

学区別プラン内容イメージ (ボリュームは各学区8頁程度を想定)

## 守山まるごと活性化プラン

### 全市プラン

- (1) まるごと活性化計画とは  
プランの目的、位置づけ、策定方法
- (2) 守山市の特性と課題  
まちの特性、まちづくり資源、課題
- (3) 活性化のめざすもの  
まちの将来像、まちづくりの方向
- (4) 取り組みの内容  
全市的取り組み、各学区の取り組み
- (5) プランの実現  
役割分担、ステップ、推進組織

### 学区別プラン

中洲学区

速野学区

河西学区

玉津学区

小津学区

吉身学区

守山学区

## 〇〇学区 まるごと活性化プラン

写真

地図

### 〇〇学区はこんなまちです

<学区の成り立ち>

歴史や自然の特性

<学区の今>

人口や産業、文化等の  
現状と動向

### 地域のたからもの

<自然系>

<歴史系>

<その他>

### まちづくりの方向

<学区の将来像(例)>

水が結ぶ  
うるおいのまち〇〇

<取り組みの方向(例)>

- 緑と生きもの、歴史に出  
会える水辺をつくる
- 水の文化が現代に生き  
るくらしをつくる

### 活性化の取り組み

<重点取り組み①(例)>

水辺の散歩道  
プロジェクト

- 水運の名残や生物を楽  
しみながら水辺を歩け  
る道をつくります
- 課題
- 具体的取組
  - ・水運遺産の表示
  - ・散歩道マップづくり
  - ・ホタルの保護活動

### 実現に向けて

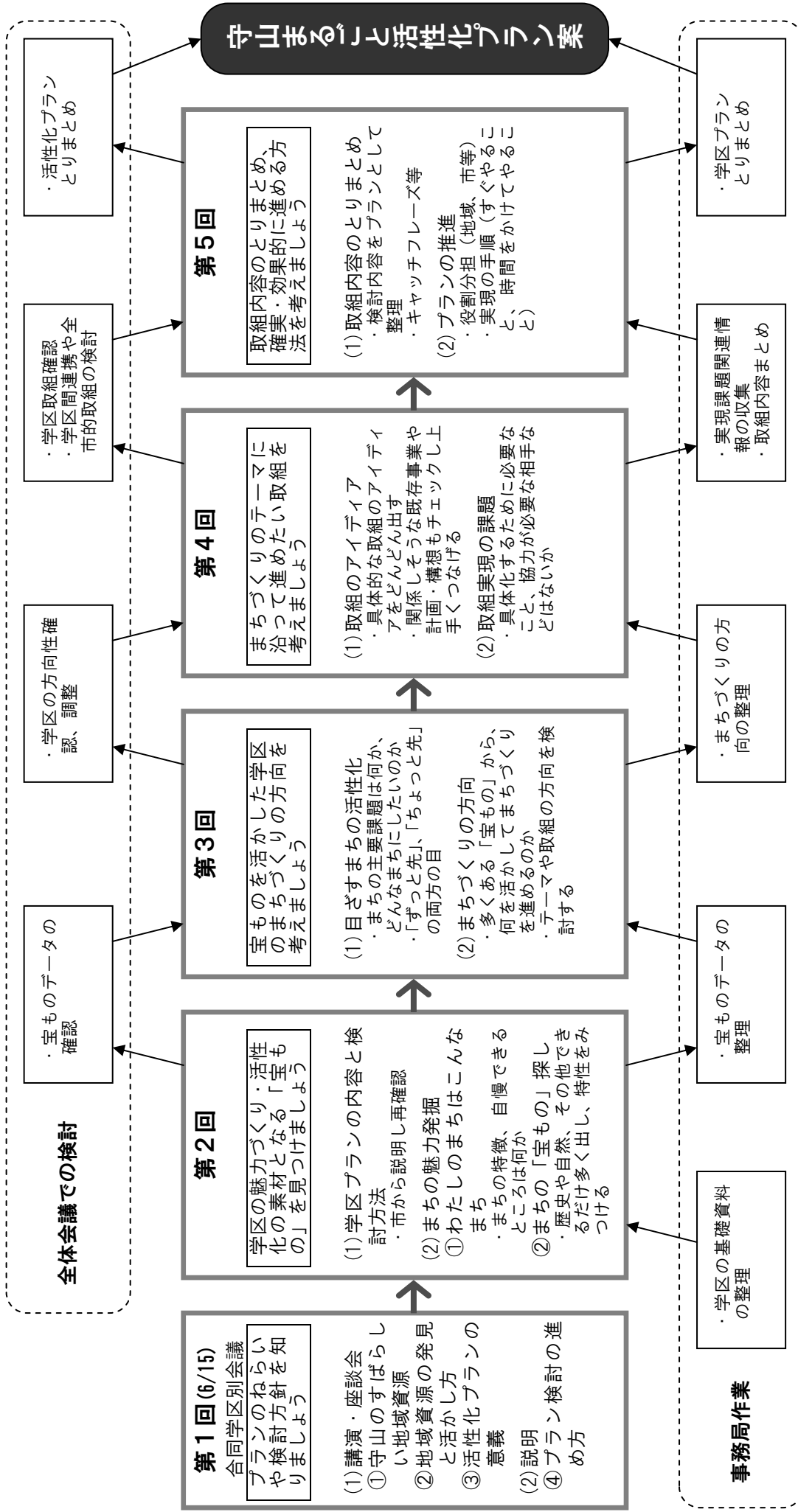
<役割分担>

PJ	地元	行政	他
1			
2			
3			

<実現ステップ>

PJ	すぐやる	時間をかける
1		
2		
3		

# 学区別会議の進め方



※これは基本的な流れを示したものであり、学区の状況に応じて各回の検討内容が変わる可能性があります

# 玉津学区の 地域資源一覧

# 玉津学区のたからもの

## ●祭り・風習

- ・長刀まつり※

## ●社寺

- ・赤野井東別院
- ・赤野井西別院【光明本尊】
- ・福正寺
- ・少林寺

【仏涅槃図、木造一休和尚座像、一休和尚像、紙本墨書法度、靈山和尚法度、一休和尚板木】

- ・聞光寺【親鸞聖人御影、庭園】
- ・釈迦堂
- ・真光寺
- ・普門院【聖観音菩薩座像】



## ●史跡・城址・古墳

- ・赤野井湾遺跡
- ・赤野井遺跡
- ・矢島城跡
- ・矢島御所
- ・寺中遺跡



## ●石仏・記念碑・建造物等

- ・諏訪屋敷
- ・天保義民の庄屋宅
- ・庄屋民家
- ・蓮如手植柳（赤野井）※



## ▲水関連

- ・天神川（バイパス整備）
- ・関伽井（池）
- ・石田川
- ・赤野井湾
- ・小津袋
- ・六条堤
- ・分水石
- ・旧赤野井港



## ▲自然

- ・地纒センターグラウンド
- ・市民運動公園（整備計画）
- ・赤野井東別院のタギヨウシヨウ
- ・少林寺のギンモクセイ
- ・小津若宮神社のシイノキ
- ・常照寺のゴヨウマツ、オハツキイチヨウ
- ・福正寺のラカンマキ
- ・箸塚跡のシダレヤナギ
- ・二宮神社のマテバシイ
- ・武道天神社のエノキ
- ・矢島かぶら※
- ・ホタル



## ●道路

- ・佐々木街道
- ・馬場
- ・石田の七曲がり



## ■公共施設・産業等

- ・地纒センター
- ・漁業



## ■その他

- ・美濃部丹水（絵画）※

※地図表示なし



# 玉津学区

## 歴史街道マップ

### 玉津学区の見どころ

玉津学区は豊かな文化財と自然に恵まれ、宗教上の遺作に多く触れられます。赤野井町は、条里制以前の地割りが良く残っており、馬場もそのひとつです。町の中心に東西両本願寺の赤野井別院が建ち、周りを両派の寺院が囲んで蓮如らの教化の跡を知ることができます。庄屋屋敷として名高い諏訪家の庭園には、三井寺の円満院から移築された茶室があり、そのたたずまいに歴史の深みを感じられます。寺社や屋敷が町の中央に集まり、周囲に商家などが見られ、寺内町的な雰囲気味わえます。

矢島町の真中にある少林寺は、とんちで有名な「一休さん」ゆかりの寺として知られ、関係する文化財が多く残されています。荒見道場から寺院となった間光寺は、蓮如上人の影響を受け、庭園などに足跡を知ることができます。一休さんはこの間光寺も訪れたと伝えられています。

石田町は、人工河川の石田川が縦断し、その両側に発達した1社1寺の町。屈曲する細い路地は、「石田の七曲がり」と呼ばれ、城郭との関わりが考えられています。

十二里町は条里制の地名を唯一残す町で、歴史上、赤野井町とつながりが強いところです。

### 1. 赤野井東別院



真宗大谷派の別院で、大恩寺ともいう。本堂は大規模な入母屋造。内陣、外陣に分かれ、このうち内陣に近い外陣1間分は広縁を取り込んで矢来間としている。棟札と高欄擬宝珠の刻名から、文化6年(1809)の建立であることがわかる。

### 2. タギョウショウ (赤野井東別院)



本堂に向かって左側に植えられているマツで、幹回りが164cm、高さは8mを測る。根元からは何本もの幹が枝分かれして伸び、上のほうで傘のように広がっている。ウツクジマツに樹形が似ているが、クロマツを台木にしてつぎ木されたもの。

### 3. 光明本尊 (赤野井西別院)



本願寺派赤野井別院として東面する伽藍を誇る。江戸時代後期の本堂には絹本着色光明本尊の絵画が保存され、念仏者の像を描いたもので、室町時代の作。

京都仏光寺で親鸞の教化を受けた人達が各地で教化活動に用いたという。

### 4. 諏訪家屋敷



諏訪家は、室町時代に足利尊氏に従った諏訪円忠が地頭として着任したことに始まり、江戸時代には大庄屋を勤めた。約4,000㎡の敷地には、母屋、客殿、茶室等を備え、池泉回遊式の庭園がある。茶室裏の石垣には石積み潜口があり、船が出入りした。

### 5. 馬場



小津若宮神社から南に向かってほぼ真っすぐのびる道路。延長約340mもあり、南端にはお旅所が見られる。毎年、5月5日に行われる小津神社例大祭には、この馬場いっぱいに長刀振りや稚児行列などが賑やかに催される。

### 6. 釈迦堂



諏訪家の北側にある平屋の小さな建物。江戸時代には白州が置かれたという。堂内には平安時代の頃の作とされる薬師如来が安置されている。

## 7. 閼迦井(池)



釈迦堂前の小さな池。閼迦<sup>あか</sup>とは仏前に供える水を、井は井戸を言う。弘法大師がこの地を訪れた時、清水が湧いたという。後には、一向宗と叡山僧兵の和睦にこの水が比叡山に供えられたと伝えられている。盛夏には植えられた蓮が綺麗な花を咲かせる。

## 8. 分水石



県道赤野井・守山線(赤野井道)から玉津小学校へ曲がる角あたりの川沿いにある。大川から水分けをするために使われていたらしく、今はそのまま保存されている。

## 9. シイノキ(小津若宮神社)



神社境内の西端にある大きな木で、枝葉は、境内を大きく包み込むような形で生い茂っている。

幹回りが365cm、高さ20mもあり、市内にある高木の中でも十指にはいる。秋にはたくさんの実をつけ、収穫することができる。

## 10. ゴヨウマツ、オハツキイチョウ(常照寺)



中庭の庭園は見事なもので、その中にある古木のゴヨウマツは、高さ6m、幹回りで90cmもある。常に手入れがいきとどいていて、すばらしい樹形を作っている。また、境内のイチョウの木は、葉にギンナンが付くオハツキイチョウである。

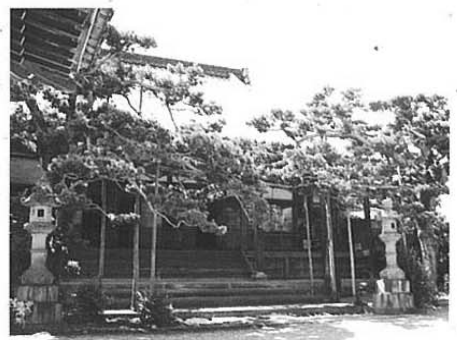
## 11. しだれ柳(箸塚)



赤野井町浜にあるこのしだれ柳は、蓮如上人が琵琶湖より上がって食事を取り、その箸を地面に刺したところヤナギになったという伝承を持つ。

高さが6mあり、幹は空洞化しているものの風格を感じさせる。枝葉も多くなく周囲の草木と調和して風情が感じられる。

## 12. ラカンマキ(福正寺)



本堂の前に2本を対にして植えられており、向かって右側の木の方が大きく、みごとである。

古い時代に中国から渡来した木で、自生ではないようである。十月頃にできる紅色の実の形が羅漢に似ているのでこの名が付いたようである。

## 13. 矢島御所



室町幕府最後の将軍、足利義昭が永禄8年~9年(1565)にかけて居た館をいう。現在の自治会館あたりが御所と呼ばれ、明治6年の地図には土塁が周囲を囲んでいたことが知れる。また、建替え以前の会館はその建物の一部が使われていたと伝えられている。

## 14. 矢島城跡



矢島町集落の北、東側で、小字名に垣内、東白(城)などの地名が残っていて、少林寺境内や民家の敷地には少し盛り上がった土塁があり、城を示す痕跡が認められる。

この他、少林寺南側にも屋敷田<sup>やしきだ</sup>の小字がみえ、城跡に因む地名が残る。

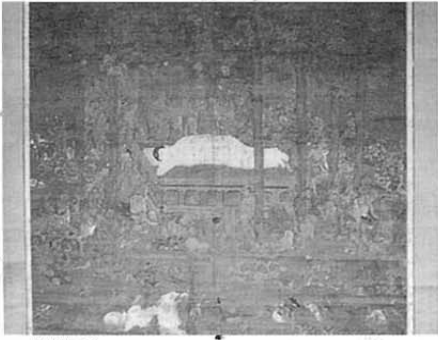
## 15. 少林寺



一休和尚の高弟、桐獄紹鳳が文明2年(1470)に開基したと伝えられる寺。臨済宗大徳寺派に属す。

県、市指定の多くの文化財が残されているほか、境内には一休さんの昔話に出てくる雷封じの井戸や江戸時代前期の鐘、石塔がある。

## 16. 少林寺仏涅槃図



涅槃図とは釈迦入滅を描いたもの。図は縦長形式で、構図から鎌倉時代以降に多く見られる定型化した涅槃図の一例。屈折の激しい線画を多用し、的確な描き方は、宋、元の影響を受けたものらしい。全体に落ちついた明るい色調で整えられている。

## 19. 少林寺紙本墨書法度



少林寺を興した桐嶽招鳳が、大永5年(1525)に寺の規範と由緒を表したもので、寺の守護を念じてしたためられている。

現在のものはこれを写したもので、縦26.9cm、横41.6cmの寸法を測る。室町時代中頃の時期と考えられている。

## 22. ギンモクセイ(少林寺)



境内の本堂前にあって、全国でも屈指の大木とされている。一休和尚お手植えと伝えられ、幹回りが265cm、高さ12mもあり、樹齢が約500年以上といわれている。

秋には白い花を咲かせるが、匂いはあまりない。

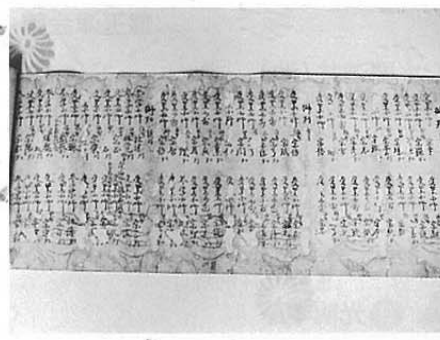
## 17. 少林寺木造一休和尚坐像



椅子に座った姿で、高さ82.5cmの等身大の像。京都大徳寺、京都しゅうおんあん酬恩庵の木像に通じ、意匠も類似している。

檜材の寄木造で、頭部から首は別材で仕上げ、襟に差し込み、彩色仕上げとしている。少林寺法度から室町後期頃の作像と思われる。

## 20. 少林寺靈山和尚法度



京都大徳寺の靈山和尚が、山門で遵守すべき条を應安元年(1368)に定めた法度で、少林寺にも所有されていることは、禅刹としての規範を整えようとした経緯が読み取れる。

鎌倉時代のもので、紙背には具注暦が記されている。

## 23. 天保義民の庄屋宅



天保13年(1842)に起こった近江三上山騒動(一揆)は天保義民と呼ばれ、この時、矢島村庄屋を務めていた林彦宗左衛門の屋敷。

家は江戸時代後期頃で草葺き母屋と門が今も保存されている。

## 18. 少林寺一休和尚像



什物の一休和尚像は、墨谿の筆による肖像画。椅子に坐した像と太刀が描かれている。享徳元年(1452)の銘があり、

一休和尚自らの賛文があることから、和尚存命中に完成された肖像画と考えられている。

## 21. 少林寺一休和尚像板木



たくさんたぐさんの信徒に和尚像を求められたために、作成されたと考えられる。

板木の裏面には、「延徳元年霜月(1489)の銘がみられることから、没後9年経って作られたものとわかる。少し傷みがあるが、保存状態はよい。

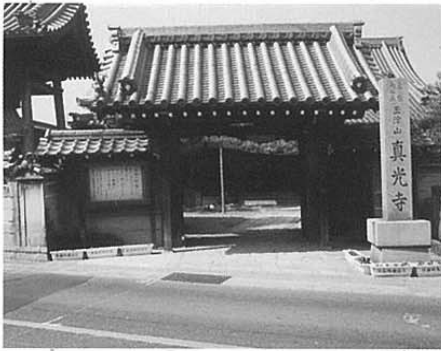
## 24. 聖観音菩薩座像



黒い蓮華座の上に安置された仏像の顔は、ふくよかで末法の世に深い慈悲をこめた立派な調和が見られる。背の内面の銘から長元2年(1029)~長暦2年(1038)までの間に作像されたことがわかる。

もとは普門院にあったが、堂が古くなったため現在の収蔵庫に移った。

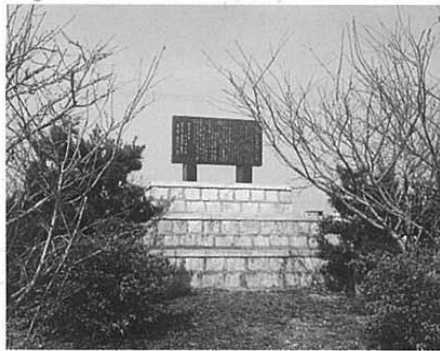
## 25. 眞光寺



眞宗大谷派の寺院で本堂、太鼓堂、鐘楼、山門、経蔵、書院、庫裡からなる。このうち本堂は、入母屋造で桁行7間、梁行8間に向拝1間が付く。棟札から元禄11年(1698)に再建されたことがわかる。

三宅町蓮生寺と同じく屋根や軒の高さが低く、眞宗寺院建築として古い。

## 26. 六条堤



江戸時代の初め、赤野井の伊賀坊了誓いけぼうりょうせいと矢島の矢島松齊やしましようさいが、野洲川の洪水から村や田畑を守るために築いた堤。高さ3m、延長3kmの規模を誇ったが、土地改良で削平をうけ、現在では堤のあった所に2人の功績を讃えた顕彰碑が残されている。

## 27. 佐々木街道



近江源氏佐々木氏が近江を支配していた頃、本拠地から京への近道として整備された重要な要路。

玉津学区では、矢島町の聞光寺前から矢島町の東側を通過して、赤野井町を横断し、赤野井港へと達する。

# 玉津学区の指定文化財

### 国指定文化財 地図に●で表示

番号	名 称	種 類	時 代	指定年月日	所有(管理)者	所 在 地	備 考
24	木造聖観音菩薩座像	彫 刻	平 安	明 42. 4. 5	管理団体 守山市	矢 島 町	要連絡

### 県指定文化財 地図に●で表示

番号	名 称	種 類	時 代	指定年月日	所有(管理)者	所 在 地	備 考
16	仏涅槃図	絵 画	鎌 倉	昭 62. 3.30	少 林 寺	矢 島 町	要連絡

### 市指定文化財 地図に●で表示

番号	名 称	種 類	時 代	指定年月日	所有(管理)者	所 在 地	備 考
3	絹本着色光明本尊	絵 画	室 町	昭 50.10.23	赤野井西別院	赤野井町	
4	大庄屋諏訪家屋敷	史 跡	江 戸	昭 52. 4.30	諏訪安茂	赤野井町	要連絡
17	木造一休和尚坐像	彫 刻	室 町	平 12. 5.12	少 林 寺	矢 島 町	//
18	絹本着色一休和尚像	絵 画	室 町	昭 50.10.23	少 林 寺	矢 島 町	//
19	紙本墨書少林寺法度	書 跡	室 町	昭 50.10.23	少 林 寺	矢 島 町	//
20	紙本墨書靈山和尚法度	書 跡	室 町	昭 50.10.23	少 林 寺	矢 島 町	//
21	一休和尚像板木	歴史資料	室 町	昭 50.10.23	少 林 寺	矢 島 町	//
22	銀 木 犀	天然記念物	室 町	平 9. 4. 1	少 林 寺	矢 島 町	//
29	聞光寺庭園	史 跡	室 町	昭 52. 4.30	聞 光 寺	矢 島 町	//
30	絹本着色大谷本願寺親鸞聖人御影	絵 画	室 町	昭 52. 4.30	聞 光 寺	矢 島 町	//

## 玉津学区 自治会別人口推移

	平成5年	平成10年			平成15年			平成17年			平成20年			平成25年		
	人口	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率	人口	増減数	増減率
赤野井	1,303	1,270	-33	97.5%	1,249	-21	98.3%	1,232	-17	98.6%	1,198	-34	97.2%	1,144	-54	95.5%
矢島	1,417	1,410	-7	99.5%	1,367	-43	97.0%	1,323	-44	96.8%	1,278	-45	96.6%	1,233	-45	96.5%
石田 1	1,608	1,614	6	100.4%	1,623	9	100.6%	1,576	-47	97.1%	1,560	-16	99.0%	1,479	-81	94.8%
十二里	207	213	6	102.9%	204	-9	95.8%	199	-5	97.5%	184	-15	92.5%	185	1	100.5%
合計	4,535	4,507	-28	99.4%	4,443	-64	98.6%	4,330	-113	97.5%	4,220	-110	97.5%	4,041	-179	95.8%

## 学区別人口推移（平成5年から平成32年まで）

	平成5年		平成10年		平成15年		平成20年		平成25年		
	人口数	増減数	人口数	増減率	人口数	増減数	増減率	人口数	増減数	増減率	
守山	14,299	1,904	18,926	113.3%	2,723	116.8%	22,566	3,640	119.2%	1,497	107.3%
吉身	12,976	1,247	14,956	109.6%	733	105.1%	15,618	662	104.4%	662	105.0%
小津	6,081	5,796	5,624	95.3%	-172	97.0%	5,699	75	101.3%	187	103.7%
玉津	4,532	4,507	4,443	99.4%	-64	98.5%	4,220	-223	94.9%	-195	95.8%
河西	10,853	11,649	12,087	107.3%	434	103.7%	13,099	1,012	108.3%	345	103.5%
速野	8,396	9,565	10,585	113.9%	1,020	110.6%	11,928	1,343	112.6%	541	105.6%
中洲	3,116	2,983	2,891	95.7%	-92	96.9%	2,799	-92	96.8%	-124	95.4%
合計	60,253	64,926	69,512	107.7%	4,586	107.0%	75,929	6,417	109.2%	2,913	104.6%

12

	平成27年		平成32年		
	人口数	増減数	増減率	増減数	増減率
守山	25,025	962	103.9%	2,379	109.5%
吉身	15,536	-744	95.4%	-84	99.4%
小津	5,708	-178	96.9%	-99	98.2%
玉津	3,907	-118	97.0%	-258	93.3%
河西	13,745	301	102.2%	366	102.6%
速野	13,816	1,347	110.8%	1,226	108.8%
中洲	2,624	-51	98.0%	-148	94.3%
合計	80,361	1,519	101.9%	3,382	104.2%

※ 平成27年、32年の人口統計値については市が作成した「第5次守山市総合計画」で表示された数値を参照しています。

# (1) 各学区の人口推移

※ 27、32年度においては第5次総合計画のデータを参照しました。

	平成15年			平成20年			平成25年		
	人口数	増減数	増減率	人口数	増減数	増減率	人口数	増減数	増減率
守山	18926			22566	3640	119%	24063	1497	107%
吉身	14956			15618	662	104%	16280	662	104%
小津	5624			5699	75	101%	5886	187	103%
玉津	4443			4220	-223	95%	4025	-195	95%
河西	12087			13099	1012	108%	13444	345	103%
速野	10585			11928	1343	113%	12469	541	105%
中洲	2891			2799	-92	97%	2675	-124	96%
合計	69512			75929	6417	109%	78842	2913	104%

平成27年			平成32年		
人口数	増減数	増減率	人口数	増減数	増減率
25025	962	104%	27404	2379	110%
15536	-744	95%	15452	-84	99%
5708	-178	97%	5609	-99	98%
3907	-118	97%	3649	-258	93%
13745	301	102%	14111	366	103%
13816	1347	111%	15042	1226	109%
2624	-51	98%	2476	-148	94%
80361	1519	102%	83743	3382	104%

